

## 『温泉まちづくり研究会（仮称）』の創設について

### 1. 設立の趣旨

「温泉」は、老若男女を問わず日本人の行きたい旅行タイプの第一位にランクされ、常に不動の人気を誇る旅行目的である。

にもかかわらず、全国の温泉地は、一部好調なところもあるが、全般的には低迷を続けており、近年の旅行志向の変化に対応し切れていないなど様々な課題を抱えている。こうした課題は、個々の温泉地固有のものもあるが、多くの温泉地に共通するものも少なくない。

そこで、「温泉地」が抱える共通の課題を、主要な温泉地の関係者とともに議論して解決の方向性を探り、その情報を広く発信して、国や行政に提言するとともに、全国各地の温泉地の活性化に資することを目的として、本研究会を創設する。

### 2. 参加温泉地（案）

- ・ 人口数千～一万人程度のコミュニティを有する
- ・ これまでまちづくりに熱心に取り組んでいる
- ・ 国立公園内にある、あるいは市町村合併の経験がある など
- ・ そして、上記、設立の趣旨に賛同する温泉地

#### （候補温泉地）

- ・ 北海道阿寒湖温泉
- ・ 宮城県鳴子温泉
- ・ 群馬県草津温泉
- ・ 石川県山中温泉
- ・ 兵庫県有馬温泉
- ・ 大分県由布院温泉 他

#### （事務局）

- ・ 財団法人日本交通公社 研究調査部

※各温泉地から毎回2～3名程度が研究会に参加するものとする。

※なお、研究会には、関心のある国や地方自治体の職員や他の温泉地関係者はオブザーバーとしての参加も可能とする。

### 3. 事業概要

事業内容については、参加する各温泉地と協議しつつ、固めていくものとするが、当面は、以下の事業を想定する。

#### (1) シンポジウム

#### (2) 定例研究会

- ・ 3ヶ月に1テーマを取り扱う（年間3テーマ程度を予定）。
- ・ テーマ毎に1回3時間×2回程度、各温泉地の課題と解決策の紹介、他温泉地の事例紹介、専門家のレクチャー、課題解決の方向性についての議論等を行う。
- ・ 1テーマ、3回で完結させる。（定例研究会1回/月）+提言のとりまとめ（1ヶ月）
- ・ 会場は、JTBF会議室（東京）、もしくは幹事温泉地とする。
- ・ なお、温泉地で行う場合は、温泉地の視察並びに観光まちづくり関係者との意見交換を合わせて行う。

#### (3) CS（顧客満足度）システムの導入

- ・ 当財団が開発したCS（顧客満足度）システム-CS-tを導入し、来訪客の満足度を一定期間測定し、参加温泉地の特性による満足度の比較等を行う。

#### (4) 議論結果の公開

- ・ JTBFやメンバー温泉地のHP等で議論結果（「温泉地からの提言」）を公開し、全国温泉地の課題解決に向けて活用してもらう。あるいは共同でアクションを起こす。
- ・ 年度末に、総括研究会を開催する。

### 4. 研究会の運営について

- ・ 財団法人日本交通公社の観光文化振興基金（自主研究費・100万円）及び参加温泉地からの協同出資（20万円）とし、事務局業務は（財）日本交通公社が行う。
- ・ 運営費は以下の経費に充当する。
  - 講師招聘費用（謝礼、旅費）
  - 会場費
  - CSシステム導入費
  - 参考資料購入・コピー費
  - その他会の運営に必要な経費（HP掲載）

※温泉地への旅費などは参加者負担とする。

以上